

フォーチュネイト・ブlessings財団
ウィリアム・スピーアー
24 Village Green Drive, Litchfield, CT 06759, USA
william@fortunateblessings.org

子どもの心のケアプロジェクト概念

東日本大震災により被災した子どもの心のケアが急がれています。我々「フォーチュネイト・ブlessings財団(Fortunate Blessings Foundation、以下 FBF)」は、自然災害に見舞われた被災地において心の健康に対するサポートを長年に渡り実施してきた国際的な NPO であり、日本の被災地の子ども達を PTSD (心的外傷後ストレス障害) から出来る限り守りたいと考えます。

この度、心理学者を中心とするチームが来日し、被災した子どもに接する大人へのノウハウ提供および子どもとのワークショップを各地で無償にて行うことを計画しています。FBF の目的は、子供の PTSD や鬱の兆候、身体的機能障害、家族との分離による不安などを可能な限り抑えることであり、日本の文化に合わせて内容のカスタマイズをしております。子どもとのワークショップは、効果的に身体を使ったプレイセラピー (ゲーム) を行うことにより、恐怖体験や悲しみ、怒りの感情を外に逃がすことに貢献します。

(1) 被災した子どもに接する大人へのセミナー

対象： 保護者、教師、ボランティア、ソーシャルワーカー、医師など被災した子どもに接する大人 (対象者カテゴリごとに回を分ける。1人～最大100人/回)

所要時間：1時間～半日程度まで、条件に合わせて対応可能

内容： 自然災害に伴う PTSD 及び子どものニーズについてのレクチャー、心のケアとしての子どもの対話方法や遊び方についてのデモンストレーション

(2) 被災した子どもとのワークショップ

対象： 被災した6～10歳の子ども (年齢層ごとに回を分ける。18歳まで対応可能。1人～最大200人/回)

所要時間：1時間～2時間程度まで、条件に合わせて対応可能

内容： 全身を使って負の感情を身体の外に逃がすプレイセラピー

【メンバー】

- ・ William Spear (ウィリアム・スピーアー) : FBF代表。元麻薬・アルコール中毒症のリハビリテーションカウンセラー。自然災害によるトラウマを抱える人へのセミナーリーダー、講師として30年の経験を持つ。
- ・ Roni Berger, PhD. (ロニ・バージャー博士) : 災害トラウマのケアで国際的に知られる臨床心理学者。政治的暴動や自然災害により被害を受けた子どものケアに関する経験多数。
- ・ Meg Kallman O' Connor (メグ・コールマン・オコーナー) : 医療ソーシャルワーカー修士。国土安全保障委員会認定。地震後のハイチ、911後のニューヨーク、ハリケーン後のニューオーリンズに米政府より派遣され、子どもの心のケアに携わった。
- ・ Daniel Gates, PhD. (ダニエル・ゲイツ博士) : 臨床心理学者。

【フォーチュネイト・ブレッシングス財団について】

FBFは、ライフスタイル、環境、食生活、人間関係、健康の相互関係の啓蒙を目的とした国際的な財団です。主な活動に、自然災害後の子どもへの接し方についてのメソッドを保護者、教師、医師へレクチャーする活動があります。

2004年のスリランカの津波の際には35,000人の子ども達のケアに携わり、2006年のジャワ島中部地震の際には40,000人、2009年のサモア地震では4,000人のケアにつながりました。これらの経験から、アメリカ人、パレスチナ人、スリランカ人、イスラエル人、タイ人、インドネシア人、中国人など国籍に関係なく同等の効果が得られることが検証されました。

FBFのプロセスでは、PTSDの兆候がある子どもを早期に発見することができ、効果的な対話やエクササイズを行うことによりPTSDを回避または最小限に抑えることができます。

Website : <http://www.fortunateblessings.org/>